



**KOKUSAI NO OYA**

**Vol. 3**

**TOPICS**

**国際高校受験の決め手**

**受験生の「おや」虎の巻**

**入学してびっくりしたこと**

**国際IBの「おや」**

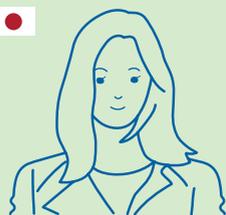
## 国際のIBはここがすごい!

- 国際のIBは「日本の高校の卒業資格」「IBの認定」を同時に取得できる。  
つまり、日本の大学も海外大学も両方視野に入れられるため、**選択肢の広さは最強**と言ってよい。<sup>※1</sup>
- 「一部、日本語で授業」「英語と日本語どちらかを選べる」というIBが多数を占める中、国際のIBコースは「すべて英語」。<sup>※2</sup>  
そのため、**実際に海外大学に進学した際に、英語で苦勞することはほぼない。**
- 国際生が受験したIBスコア(24/45が合格点)の平均値は、年々上昇しており、2022年は**国内2位の40.4**となった。  
**公立学校としては1位**。人数が多いと平均値は下がる傾向にあることを考慮すると、非常に高いスコアと言える。

※1 IBスコアをクリアしても、アメリカ等はSATのスコアも必要。

※2 家庭科や保健といった科目を日本語で学ぶため、苦勞することも、日本語の習熟度別のフォローがある。

## 志望理由は「海外大学」



Eさん

子供は日本育ち、インター・海外居住経験なし。複数の都立高校を見学をして、都立国際の多様性とキラキラした生徒を見て決定。海外大学を視野に入れていたので、将来の選択肢を増やすためIBを受験した。IB不合格でも、都立国際の国際科を一般受験するつもりだった。



Cさん

子供はニュージーランド出身、英語が母語。英語で勉強できる高校を探していた。都立国際と私立2校の候補の中で比較した結果、「すべて英語」で授業が受けられる都立国際に決めた。海外大学を目指している。

## 「強い目的意識」「IBコースの理解」

Eさん: 内申点、課外活動(リーダー経験等)、数学、面接(適性や目的意識)、論文、すべて一定以上のレベルをそろえるためには、3年生になってからの準備では間に合わない印象があります。特に英語は、入学後のことも考えて中学のうちに英検準1級を取得しました。英語以外の科目は日本語ベースか英語ベースかを選択して受験できるので、日本語を選びました。(IB受験を決めた時期は?)遅かったです(笑)。もともと塾も通っていたんですが、小論文は親も協力しながら、本人が次第にコツを掴んでいきました。ロジカルシンキング、クリティカルシンキングは必須です。うちの場合、面接は日本語:英語は1:1くらいの割合でしたね。

Cさん: 外国人枠は5人です。日本人枠受験生と同じ試験問題が出されて、一定の点数をクリアしていないと、合格者なしの可能性もあると思います。ニュージーランドに比べて日本の数学は難しいので、数学のテキスト(日本語版を英訳したもの、電子書籍あり)がとても役に立ったのでおすすめです!小論文は知り合いに添削をお願いする等、追い込みをかけました。Eさんと比較するとあまり対策や分析等はしていませんでしたが、海外での教育でロジカルシンキング、クリティカルシンキングが養われていた可能性があります。受験は英語ベースを選択しました。「なぜIBか」についてきちんと答えられるようにしておくのは基本ですね。

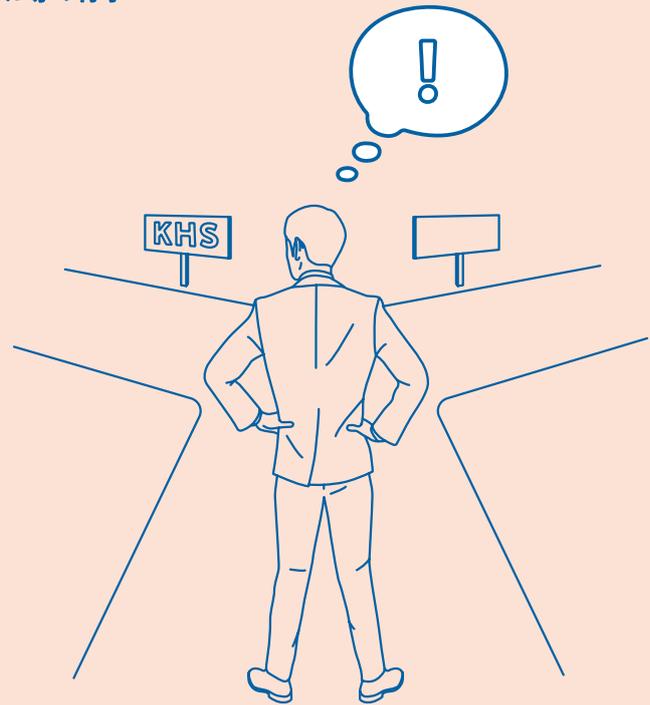
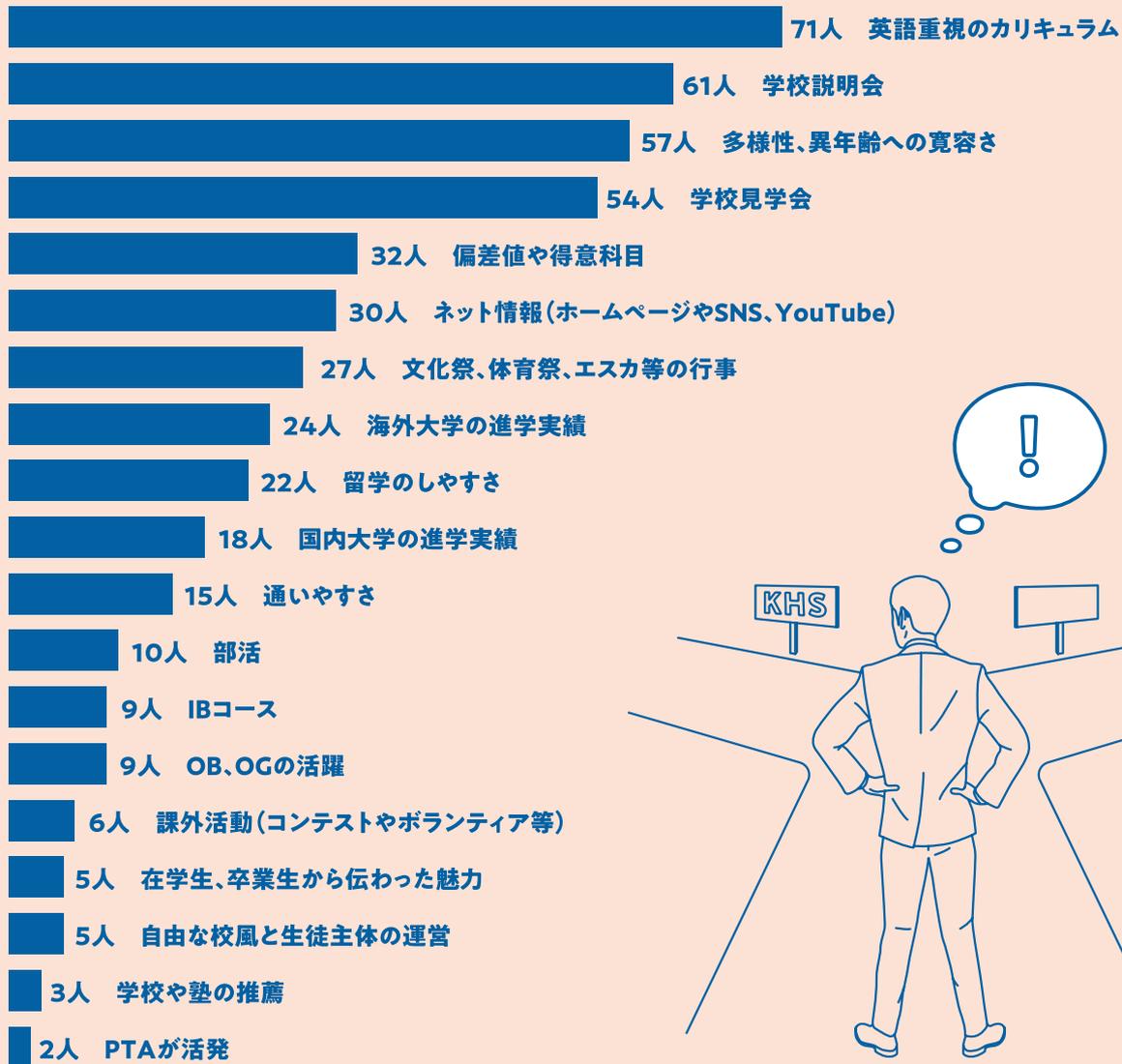
## Eさん・CさんからのTIPS

- 国際IBは2年生からスタートし、3年生の11月にIB受験を行う。  
標準的なIBコースよりも半年早く受験を行うことが認められている。割と珍しい。
- 国際科のことを「レギュラー」と呼んでいる。  
IBの生徒は各クラスに分散しており、クラスアクティビティや部活は両コースとも共通。
- IB棟はきれいだ。英語が飛び交っている。  
国際科もそこかしこで色んな言語が聞こえる。リアル多文化共生。

国際の「おや」ではこれからも、国際IBを特集していきます。



# 国際高校を受験した決め手はなんでしたか？



## 補足コメント

- 海外在住時、先輩ママさんのお墨付きでした。
- 校則の自由度が高いこと。
- 多国籍の生徒がいて、世界の縮図のようだから。
- 素直で真面目、常識と知識のある頭のいい生徒たちの学校だと見学会で感じました。  
1番の決め手は施設見学会での生徒さんの自主性の素晴らしさです。  
あと、生徒さんが出演されているテレビ番組のおびを拝見したのも国際を目指すきっかけになりました。
- 都立で唯一IBコースがあったので。
- 小学生の時に参加した桜陽祭で絶対に入りたい!と思い続けて。
- PTAがアクティブ。子供のために、学校側にきちんと意見を言う。有耶無耶に済ませない。すごいいと思います。
- 先輩達の華やかな楽しそうな姿を駅など通学途中で見て。
- 説明会の時にエスコートしてくれた執行部の生徒から滲みでる雰囲気に着かれたそうです。
- 「アニメの世界のようだった」そうです(笑)
- 学校見学会で、在校生のみなさんがとても優しく案内してくれて、学校の雰囲気にとても惹かれたから。
- PTA発行の広報冊子も素晴らしく、生徒会目線の冊子もわかりやすい。
- スクールツアーで案内してくれた生徒の方の印象がとてもよかったのは大きな決め手でした。  
大人たちの中でも物怖じせず、しっかりと質問に回答し、その中にも個性を見せていました。  
とても魅力のある子たちが集まった学校だと感じました。当時いくつか回った見学校の中で、  
子供自身も生徒の方々の印象で、この仲間になりたいと思ったのが大きかったです。



# 受験生の「おや」虎の巻

パパ	ワタシ	ママ
H 54	H 46	H 98
M 99	M 100	M 9

ワタシ
▶たたかう
にげる
ぼうぎょ
どろく



## 中学生活

1. 受験前に学校を見学して、本人が受けたいと思えることが大切
2. 勉強だけでなく、部活や委員活動を頑張ったり、代表を務めたりすると経験値や自信もつくし、内申書に書ける項目も増えてアピールに繋がる
3. 普段の定期テスト前から丁寧に勉強すると、内申アップはもちろん、受験勉強としても役にたった

よし!



## 精神面

1. なぜ国際に入りたいか、国際に入ったら何をしたいかについて明確に・具体的に述べられるようにするとよい  
ex: 部活やエスカなどの学校行事を楽しむこと、スカートをミニにするとか髪染めなど学校生活を楽しむことなど毎日イメージする
2. 諦めないこと。国際に行きたいと周囲にも言い続ける
3. 眠い時は寝る!(無理すると体を壊す)
4. たまには好きなことをしてリフレッシュ!受験へのモチベーションを保つ!
5. 体調管理(親子二人三脚で!)
6. 保護者から具体的なエールを送る  
「こんな問題に取り組むなんてすごい!」  
「解けるの!?すごい」など

ファイト!



## 勉強面

1. 模試はたくさん受けた方がいい
2. 他校のものも含め、過去問をやる国際自校作英語の過去問に取り組む長文があったり量が多かったり手強いが、試験当日落ちついて受けるためには、過去問対策が必須
3. 併願した私立の英語の問題が国際の自校作成問題と類似していた、私立の受験が終わっても英語の試験だけはしっかり復習すると良い
4. カリキュラムの割り振り、目標得点とその取得日程を逆算で設定して勉強
5. 英語の英作文は時間があれば解く
6. 英語の長文読解対策はしっかりやる
7. 中学英語が得意なだけの日本育ち、インター・海外移住経験なしでは国際自校作の英語で点を取るの難しい英語以外の4教科でハイスコアを取れるよう手を抜かないトータルの得点で合格を勝ち取る



## ちょっと気になるプチQA

**Q** 長期留学する人はどれぐらい？

**A** 各クラスに2,3人

次世代リーダー育成道場(都立高校向けプログラム)での留学は、コロナ前は25人近く参加していた。33期生(現三年生)は、学習指導要領が変更になる年だったため、帰国後のカリキュラム取得が大変になるので希望者は少なかった。34期生は15人くらい参加。文部科学省の留学プログラムが復活したこともあり、私費・短期留学を含めると数えきれないくらい増えた印象。私費留学の場合そのまま帰国せず、国際を辞め留学先での卒業を選択する者もいる。

**Q** PTA活動は強制参加？

**A** 完全に任意参加です。

子供からの情報がストップすることが多々あるので、参加すると「え？知らなかった！」って情報が手に入れやすいという利点があります。

**Q** 学校でのスマホ使用は？

**A** 使えます。電子辞書としてだったり、レポート提出に使用していたりと授業にも活用しています。



# 入学してびっくりしたことはありますか？

ポジティブなびっくり

1位

親にびっくり

- PTAが活発で保護者も楽しんで子ども達の為に取り組んでいること
- 親のテンションの高さ ●子どもの勉強に対する親の関心の高さ
- わかっていたつもりでしたが、実際の入学式の舞台上に様々な国旗が並んでいて、親も含めてその多様さを改めて実感しました

2位

自主性にびっくり

- 予想以上に自由だったが、兄弟の通っているインターともまた違いました 都立であるというところに公平性があるのかもと思います
- 本当に生徒の自主性を重視していて、生徒たちが何事も全力で取り組んでいる事にいつも驚き、感銘を受けています!
- 学校から与えられた情報も上手く生かしながら、自身で探して行動し、周りを巻き込む力は高校生ながら立派だと思いました

3位

生徒にびっくり

- みなさんお勉強がよくできる!
- 様々な宗教やバックグラウンドの中で今までの常識と違うことを 子供は驚くと言うより楽しんでいるようです
- 生徒同士が英語で日常会話しているのを見たとき
- 男女、先輩後輩の仲の良さ

ネガティブなびっくり

1位

課題の多さにびっくり

- 噂には聞いていましたが、課題の多さに驚きました 体を壊すのではないかとハラハラしました
- 課題・部活・委員会・行事が重なり想像以上にハードだった

卒業生、先輩へのアンケートでは・・・  
・課題が大学受験に役立った  
・国立理系のため力を入れる課題を絞った

2位

行事等の情報の少なさにびっくり

- 行事や部活など、連絡がぎりぎりなこと
- 体育祭で1年はほぼ全員で演団に入るため、GWに旅行入れており衣装作りもかなり大変だった

演団は自由参加です

3位

施設・環境にびっくり

- 校内が予想以上に古い(笑)早くIB棟のようにキレイにしてあげて欲しい
- 売店(購買)がないこと

・軽食を購入できる自販機が1階と5階にあり  
・国際ポロシャツは買えます  
・文具等の販売はありません

どちらともいえないけどびっくり

- 一足制だったこと ●女子が多い ●土曜日授業がない、代わりに毎日(45分)7時限 ●体育館の床が歩くと揺れる事
- クラスがIB生徒と混合 ●国際特有の名称?言い方?がいくつもあること

## 国際の「おや」

この小冊子では、わたしたちが親視線で「おや、これは…」と気づいたことをたくさん集めて載せています。もしかしたら、今すぐには必要のない情報もあるかも知れません。そんなところもひっくるめて、都立国際高校での彩り豊かな生活をイメージしてもらえることを願っています。

2023年11月発行 製作・編集

都立国際高校 PTA 学年委員会

都立国際高校  
WEBSITE



都立国際高校  
PTA WEBSITE

